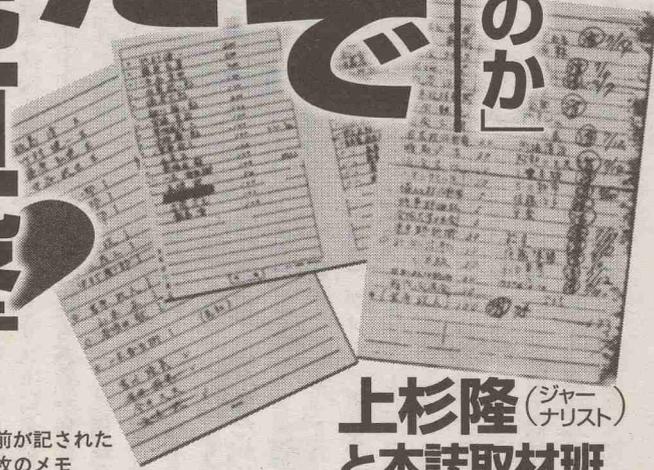


「あなたは受け取ったのか」
「機密費は国家の必要経費なのか」

「実名リスト」で 名指しされた 言論人を連続直撃



左上から時計回りに
田原総一郎、中村慶一郎、三宅久之、俵
孝太郎の各氏



名前が記された
3枚のメモ

上杉隆 (ジャーナリスト)
と本誌取材班

「毒まんじゅう」を食らったのは誰なのか。「官房長官時代に機密費を評論家に配った」という野中広務氏（小淵恵三内閣。在任98～99年）の発言は、政府とメディアの隠れた「共犯関係」を暴いた。メディアが自浄能力を問われる中、上



杉隆氏がついに配付先を記した「実名リスト」を入手。沈黙する新聞・テレビに代わって、徹底追及した。

野中広務氏は、沖繩での講演で「田原総一郎氏だけは受け取りを拒んだ」といったが、受け取った評論家の名は明かしていない。私は野中氏に取材を申し込み、名を明かすよう迫ったが、拒否された。

野中氏が証言したように、カネを渡すべき評論家のリストは、歴代官房長官が引き継いできたものである。ところが、宇野宗佑内閣の官房長官だった塩川正十郎氏（在任89年）も本誌の取材に「中身については墓場まで持っていく」、細川護国閣の官房長官の武村正義氏（在任93～94年）も「何も喋らない。週刊誌は嫌いだ」と一様に口をつぐみ、